

プロジェクト報告 Project Reports

ICAカナダ 地域開発カリキュラム勉強会

ICAカナダ ビル・ステイプルス来日
2010年7月

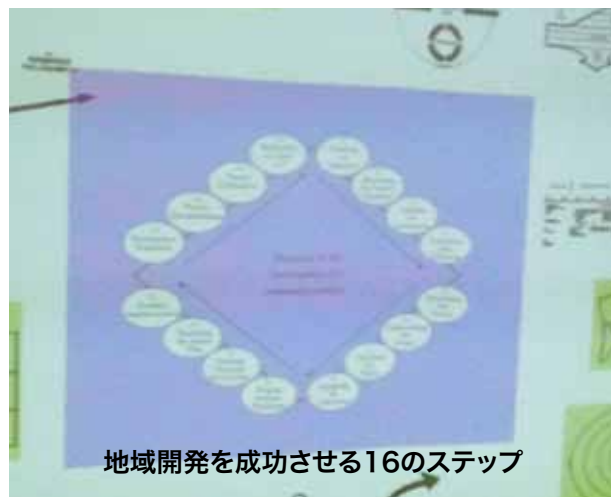
2010年7月10日～18日、ICAカナダのビル・ステイプルス(ICA/CTF)が来日した。ビル氏は、1970年代にICAの参加型地域開発(Participatory Community Development)のカリキュラム開発に係り、インドで5年間の実践を積み、現在は世界各国で活躍するファシリテーターで今回3度目の来日。



地域開発と参画について話すビル氏(左)
事業地でスキルを役立たせようと真剣に聞くスタッフ

ビル氏は、カナダをはじめ、インドなど世界で地域開発、組織開発を成功させるテクニックを研究し、現在は主にカナダにおいて『ICAアソシエイツ』として、政府コンサルティング、カリキュラム・デザイン、組織開発、市町村合併コンサルティング、会議ファシリテーションなど幅広く活躍している。

今回は、9日間の滞在でカリキュラムと地域開発の成功の秘訣を披露してくれた。カリキュラムは、地域開発における様々な行動データを何万、何十万と分析し、その結果に沿って理論的な説明をつけたものである。全部で200種類ほど存在し、今回はその中の16種類を目的別に利用し、地域開発を成功させる『地域プロジェクトの開発プロセス(Process in the development in the community project)』について話し合った。



地域開発を成功させる16のステップ

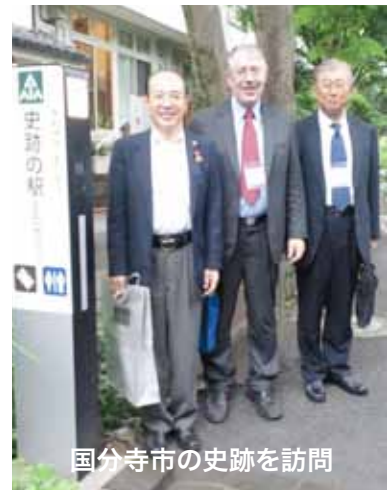
ビル氏は、『世界30カ国に存在するICAの中でも日本事務所ほど途上国支援を行っている団体はない。カリキュラムを有効的に活用し、多くの成功例を出した欲しい』と言う。ビル氏に『日本の何が見たいですか』と聞くと、『人間観察がしたい。たくさん人のいる場所に連れて行ってくれ』と何処までも人に関心のあるビル氏でした。



ビル氏の研修を受けたICAスタッフ



JICA東京国際センターにて
人材育成研修のプレゼンを行った



国分寺市の史跡を訪問